

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第 6 号

ハスモンヨトウの発生状況についてとりまとめましたのでお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

県内各地のフェロモントラップで、ハスモンヨトウが例年より多く誘殺されています。

今後、野菜・花き等を中心に被害が予想されますので、適期防除に努めてください。

1 作物名 野菜・花き類等作物全般

2 病害虫名 ハスモンヨトウ

3 発生状況（経過）

1) 県内 4 か所（国富、西都、都城、佐土原）に設置しているフェロモントラップへの誘殺が 6 月上旬以降急増している。特に 6 月第 3 半旬の誘殺数は、国富で 104 頭（平年 52 頭）、西都で 253 頭（平年 117 頭）、都城で 172 頭（平年 68 頭）、佐土原で 202 頭（平年 100 頭）であり、すべての地点で平年を大きく上回っている。（図 1）

2) 向こう 1 か月の気温は、高い確率 60% と予想されており、本種の発生に好適な気象条件である。（1 か月予報 鹿児島地方気象台 6 月 17 日発表）

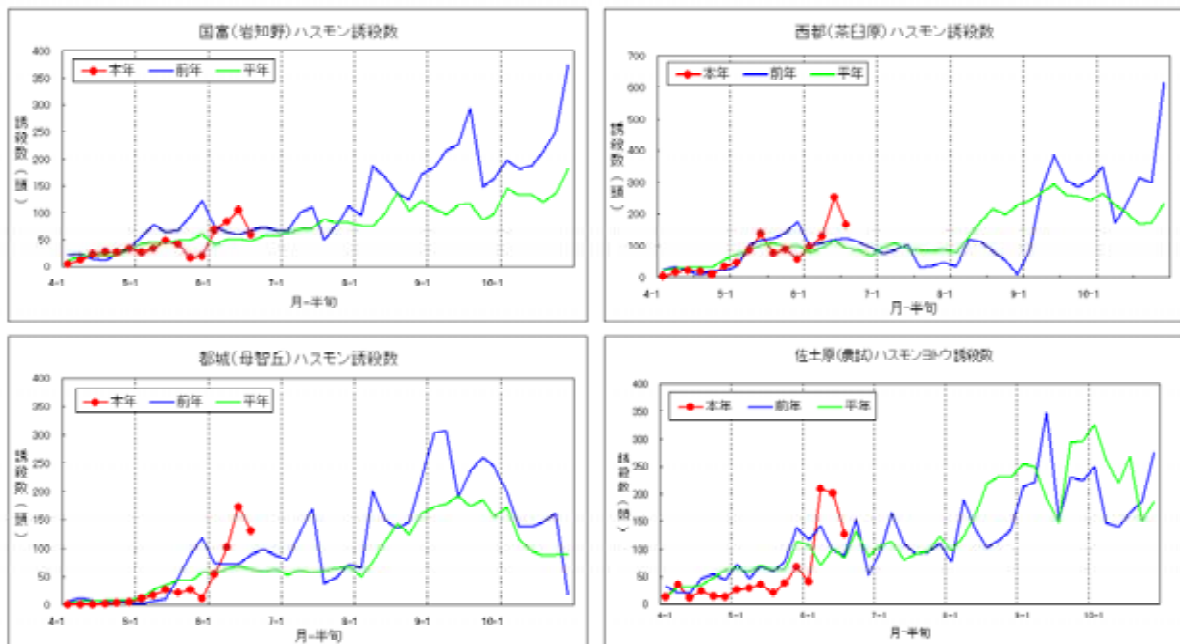


図 1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺状況

4 防除上の注意

- 1) 圃場ごとに発生が異なるため、定期的に圃場を見回り、早期発見に努める。一度防除した圃場でも、成虫が飛来して産卵するので、引き続き発生に注意する。
- 2) 防除適期は、卵塊が葉裏に産卵され、孵化した若齢幼虫が集団となって食害する時期（白変葉期）である。周囲に分散した中・老齢幼虫は、薬剤の効果が低下する。
- 3) 雨よけ栽培等では開口部に防虫ネットを設置し、成虫の侵入を防ぐ。なお、成虫はネット上などにも産卵し、編み目から孵化幼虫が施設内に侵入するので注意する。
- 4) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる系統薬剤とのロ - テ - ション散布に努める

5 その他

その他詳細については、病虫害防除・肥料検査センター、総合農業試験場生物環境部、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）等関係機関に照会してください。
6月1日から8月31日は、農薬危被害防止運動月間です。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努めましょう。

《連絡先》 宮崎県病虫害防除・肥料検査センター 壹岐
TEL : 0985-73-6670 Fax : 0985-73-2127
ホームページ : <http://www.jpnp.ne.jp/miyazaki>
E-mail : byogaichu-hiryu@pref.miyazaki.lg.jp